

宮城県沿岸の高水温の状況について

令和6年4月 宮城県水産技術総合センター 環境資源チーム

- 2010年代中盤以降、親潮の南下が弱化し、2017年以降は黒潮大蛇行が継続しており、宮城県沿岸に親潮が波及しにくくなり黒潮系水が波及するようになってきています。
- 2022年12月以降に黒潮続流が「極めて北偏」の状態となって以降、宮城県沿岸ではさらに黒潮系水の波及が強くなり、2024年も継続しています。2024年3月下旬までの宮城県沿岸部の水温の状況をお知らせします。

海水温の観測結果

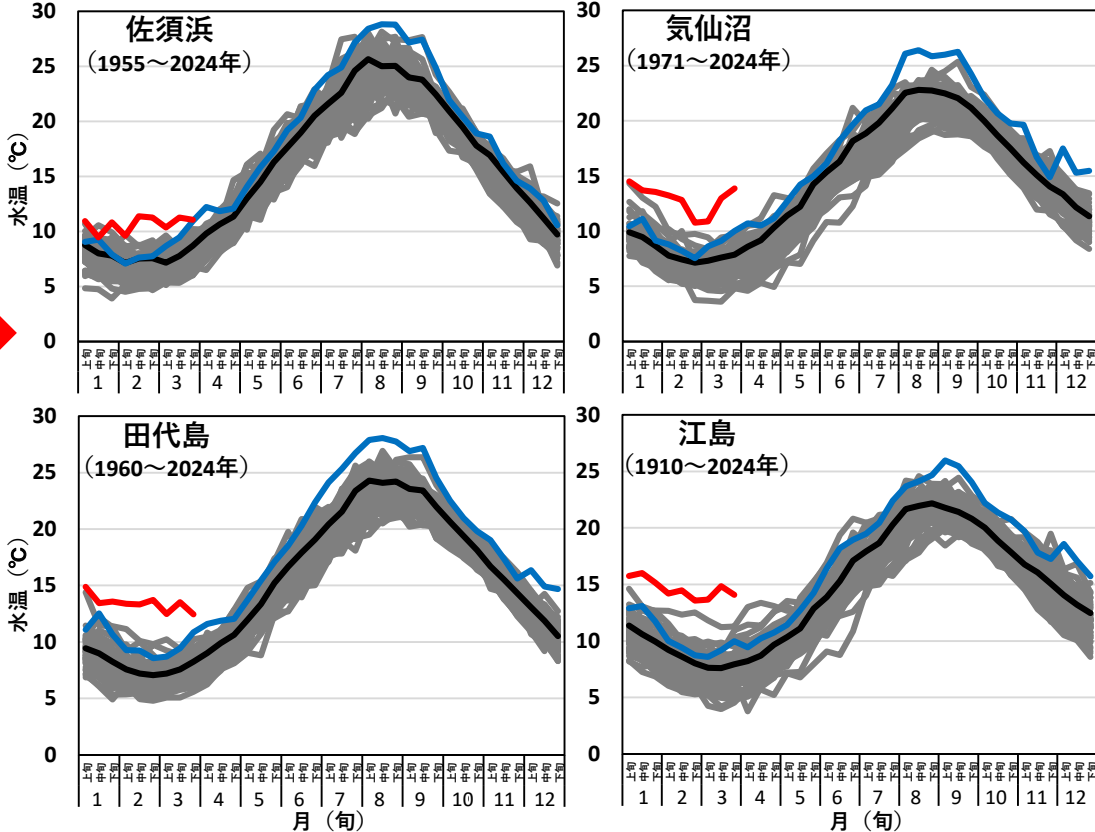
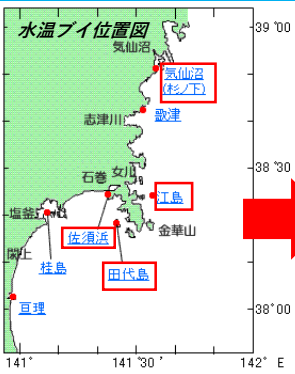


図1 気仙沼・江島・田代島・佐須浜の水温ブイの2024年3月下旬までの水温の観測結果

—：2024年の観測結果
—：2023年の観測結果
—：平年値 (2014-2023年の平均)
—：過去の各年の観測結果

- ✓ 宮城県水産技術総合センターが運用している7台の水温ブイのうち、観測期間が50年を超える4台の水温観測結果（海面水温）を図1に示しました。
- ✓ 2024年1月上旬から3月下旬までの水温を見ると、気仙沼、江島、田代島の全データで過去最高水温となり、平年値を最大で7.2℃上回っていました（江島、3月中旬）。
- ✓ 黒潮系水波及の影響を受けにくい佐須浜においては他の地点と比べ水温が低い傾向にありましたが、1月中旬と2月上旬のデータを除く全てのデータで過去最高水温となっていました。

高水温の要因 (黒潮続流と気温)

- ① 2024年は、三陸沖で例年よりも黒潮続流が極めて北偏する状況が続いており（図2）、沿岸への黒潮系水の波及が強くなっていることが高水温の要因と考えられます。
- ② 気温は、1～2月は平年よりも高く推移していましたが（図3）、3月には平年値より低くなりました。

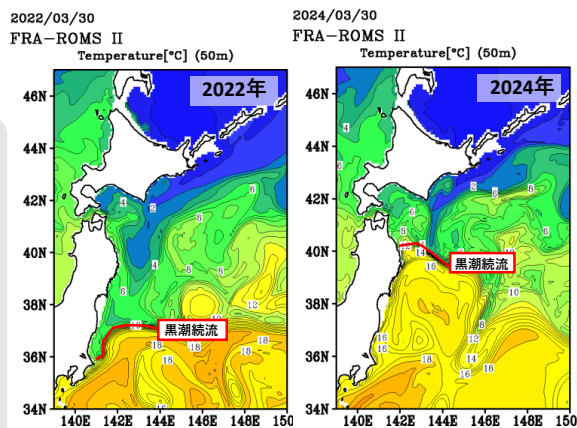


図2 2022年及び2024年の3月30日の海況図
「改良版我が国周辺の海況予測システム」 <https://fra-roms.fra.go.jp/fra-roms/>

気象庁 石巻地点 (1887～2024年)

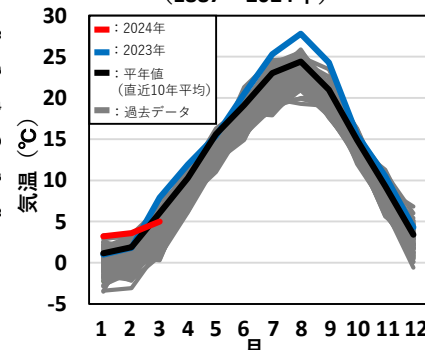


図3 石巻の気温の推移

気象庁の「過去の気象データ」から作成
<https://www.data.jma.go.jp/stats/etm/index.php>